

校長だより 第7号



# すてきな島



H26.12.22 日間賀中学校長 井本 仁

「日間賀中ホームページ」にも、このたよりを掲載しています。カラーの写真等をぜひご覧ください。

## 2学期ありがとうございました

この2学期は、島民体育祭、学校祭、持久走大会、合唱コンクールなど、大きな行事がたくさんありましたが、生徒たちは、どの行事に対しても一生懸命に取り組み、素晴らしいものにする事ができました。そして、たくさんの行事を通して、多くのことを学び、大きく成長しました。

いつも、子どもたちが素直で、前向きにがんばれるというのは、温かいご家庭のおかげだと思います。これからも、家庭と学校で協力しながら、子どもたちを育てていきたいと考えています。

2学期もたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

それでは、よいお年をお迎えください。

### ●朝会の生徒発表「人権について」(12月8日)●

僕は、人権についてあってほしくないと思うことが2つあります。

1つ目は、黒人への人種差別です。以前、社会の授業で、ロシアで黒人は店に入れないように看板が置かれている店のことを聞きました。僕は、黒人だけにそんなにひどいことをして絶対に許されることではないと思うし、黒人の人はすぐく傷つくと思いました。

2つ目は、児童や幼児への虐待です。最近ニュースでは、子どもが虐待にあう事件をよく目にします。かけがえのない命をそんな風に扱ってはいけないと思いました。なので、このことが完全になくなってほしいです。  
(1年 濱川拓真さん)

拓真さんの言うとおりの、かけがえのない命です。誰もが命を大切にしてほしいものです。

私は、人権といわれると、差別を思い浮かべます。誰だって差別はだめだ、していけないことは知っていると思います。しかし、外国人や障がいのある人などを見ると自然に意識してしまうという人が多いのではないのでしょうか。

この前の朝会で、校長先生が「ひとつのことば」という詩を紹介してくれました。確かに、ひとつのことばで嬉しくなったり、悲しくなったりと、いろいろな気持ちになります。

私たちは人間らしく生きる権利、幸せに生きる権利というものを持っています。いくら私たちと違うところがあったとしても、外国人や障がいのある人も、みな私たちと同じ人間だということには変わりはありません。

もし、このような人たちが困っていたら、自分から声をかけてあげられたらいいなと思います。  
(2年 田中美咲さん)

僕が、人権について思うことは、東日本大震災の被災者の方々のことです。被災者の中には、地震で、家族、家、仕事に使うための車や船を失ってしまった方がいます。また、福島第一原発が津波で壊れてしまって、その被害を受けて、家に帰りたくても帰れない人が今でもたくさんいます。こんなに大きな被害を受けて、東日本の人たちはとても辛かったんだろうなあと思います。それでも、みんな助け合い、他の国の人たちの支援もあり、徐々に復興してきました。

これまで僕は、この人たちのために何もしてこれませんでした。ですが、これからは、東日本復興のために自分のことができることがあれば、積極的に取り組んでいきたいと思っています。みんなと一緒に、できることをやり、一日でも早く良くなることを願っています。  
(3年 鈴木優吾さん)

困っている人に自分から声をかけてあげられる人って素敵ですね。

被災者の方々の辛い気持ちを理解することは、とても大切なことだなあと思います。

# 合唱コンクール

12月16日、合唱コンクールが行われました。どの学年もすばらしい合唱でした。春に行った校歌コンクールの時とは比べものにならないくらい成長している様子がよく分かり、とてもよかったです。金賞は3年生でした。さすが3年生と思える合唱で、涙を流しながら聞いている人もいました。最後に全校合唱で締めくくりました。寒い中、お越しくくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



## ●今号の私の好きなことば●

目標を達成するには、  
全力で取り組む以外に方法はない。そこに近道はない。

- マイケル・ジョーダン - (米国の元バスケットボール選手)